

平成 22 年 4 月 28 日

各 位

上場会社名 株式会社アールテック・ウエノ
(コード番号: 4573 大証ヘラクレス)
本社所在地 東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 7 号
代 表 者 代表取締役社長 真島 行彦
問 合 せ 先: ビジネスマネジメント部長 中村 宏司
電 話 番 号: 03 (3596) 8011
E - m a i l : info@rtueno.co.jp

液体充填カプセルの受託製造開始についてのお知らせ

このたび当社は、液体充填カプセルによる医薬品、治験薬ならびに健康食品などの受託製造業務を開始することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、2001 年 4 月より、医療用医薬品（レスキュラ®点眼液 0.12%）の製造販売を開始するとともに、医療用医薬品を始め、各種治験薬の受託製造や医薬品の研究開発支援サービスを行っております。2008 年 12 月に、日本薬局方カプセルに液体薬液を充填・シールする生産機器を導入し、液体充填カプセルの製造技術の確立、ならびに品質向上のための試験検査システムの確立に注力して参りました。上記の製造技術と試験検査システムの確立に伴い、当社は新たに医薬品、治験薬ならびに健康食品などに対応した液体充填カプセルの受託製造業務を開始いたします。

当社工場はこれまでに厚生労働省、米国食品医薬品局(FDA)、EU 規制当局による GMP 適合性調査を受け、各当局から医薬品製造設備としての認可を取得しております。受託製造業務にあたっては、これらの経験を活かし、各当局の GMP 要件を満たす製品の製造、品質管理、品質保証を致します。

現在、医薬品として開発される化合物の約 4 割が難溶性の薬剤といわれており、難溶性の薬剤は臨床試験用に製剤化することが困難といわれてきました。液体充填カプセルの最大の特徴は、脂溶性や難溶性の薬剤について製剤化が可能になることです。薬剤を植物油などに溶解させて液体とし、これをカプセルに充填して製剤化しますので、錠剤に代表されるような固形製剤の研究において求められる溶解性や吸収性の向上にも寄与できますし、バイオアベイラビリティを向上させる DDS (Drug delivery system) を目指した製剤開発も可能になると考えております。また、当社の液体充填カプセルは少量生産にも対応可能であることから、単なる受託メーカーとしてではなく、製剤化などの初期の研究開発段階から様々な技術提案をさせていただくなどのお手伝いをすることも可能です。

国の内外を問わず、脂溶性・難溶性の薬剤の製剤化や治験薬等の製造サイトの選択に苦慮している医薬品企業や新たな商品開発をお考えの健康食品企業と連携することで、当社のビジネス展開の基盤を拡げることにも可能になると考えております。

以 上